

1 分野横断的な取組について

様々な社会変化に直面し、地域課題が多様化・複雑化する中において、政策分野ごとの取組だけでなく、分野横断的な取組が必要となる課題が多くあります。その中でも、市民生活への影響が特に大きく、市を挙げた取組が必要な課題と、その対応について以下で示します。

1 分野横断で市を挙げた対策が必要な課題

(1) 人口減少、少子高齢化

今後想定される本格的な人口減少や、少子高齢化の進展による生産年齢人口の減少、高齢者の増加などは、社会の様々な分野に影響を及ぼし、まちの活力低下につながる事が懸念される大変重要な課題です。

本市では、令和 7 (2025) 年から令和 32 (2050) 年までの 25 年間で、総人口は約 35,000 人、生産年齢人口は約 43,000 人減少する一方で、65 歳以上の高齢者人口は 15,395 人増加する推計となっています。

(2) 大規模災害

地球温暖化の影響などにより、世界的に大規模な気象災害が多発する中で、豪雨災害の激甚化・頻発化は、多くの河川を有する本市にとって、大きな脅威であり、過去にも平成 29 年台風第 21 号や令和元年東日本台風により大きな被害を受けています。

また、今後 30 年以内に 70% の確率で首都直下地震の発生が予想されているなど、災害に強いまちづくりは本市にとって喫緊の課題です。

2 課題への対応について

「人口減少、少子高齢化への対応」、「大規模災害への対応」については、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「国土強靱化地域計画」において、取組の方向性を示します。

(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって、社会の活力を維持することを目指し策定する計画であり、「少子高齢化、人口減少への対応」に対する分野横断的な取組の方向性を示します。

(2) 国土強靱化地域計画

「国土強靱化地域計画」は、自然災害において致命的な被害を負わない「強さ」と速やかに回復する「しなやかさ」を持った災害に強いまちづくりを進めるための計画であり、「大規模災害への対応」に対する分野横断的な取組の方向性を示します。

【分野別計画との関係性】

